

評議員メーリングリストの運用について

電子情報管理委員会 委員長 渡 辺 浩
担当委員 神宮司 公 二

日本核医学技術学会では、委員会等各組織において E-mail のやり取りを簡便化し情報の共有化を目的として、メーリングリスト（以下 ML）を運用しております。ML は大学病院医療情報ネットワーク University Hospital Medical Information Network (UMIN) (<http://www.umin.ac.jp/>) のサービスを利用しております。

この度、評議員の先生方71名分のメールアドレスを登録し、評議員 ML の運用を開始いたしましたのでお知らせ申し上げます。ML のアドレスは、以下のようになります。

評議員 ML jsnmt-hyugiin@umin.ac.jp

つきましては、運用における注意事項をご説明申し上げますので、お知りおき下さいますようお願い申し上げます。

評議員メーリングリストの運用における注意事項

1. 評議員 ML のアドレスは、jsnmt-hyugiin@umin.ac.jp です。

メールソフトを起動し、新規アドレス登録で

名前を、評議員 ML（例えば）

メールアドレスを、jsnmt-hyugiin@umin.ac.jp

にして、登録して下さい。

あとは、評議員 ML 宛にメールを送信するだけで、評議員全員にメールが配信されます。

2. 投稿時にメンバーチェックを行います

ML 宛に投稿されたメールは、登録されたメンバー（メールアドレス）から投稿されたものなのかどうかのチェックを行い、登録アドレスからのメールであれば受理され、それ以外であれば拒否します。ですので、複数のアドレスを使用され、それぞれから投稿されたい場合は全てを登録する必要がありますので、ご連絡下さい。

複数のメールアドレスを使用され、どのアドレスからも投稿したいが、転送設定をしているので配送は一カ所だけにしたい。と、いう方への対応も可能です。その場合は、登録アドレスと配送不要のアドレスをお知らせ下さい。

これらの追加・変更は、評議員 ML がスタートした後でも可能です。

3. 受信したメールの返信先は評議員 ML です。

評議員 ML より届きましたメールをそのまま返信されますと、評議員全員（評議員 ML）に配信されます。それにより、評議員全員が情報を共有することが可能となります。ただし、送信者のみに返信したいメールを直接返信した場合には、評議員全員に見られますのでくれぐれもご注意ください。

メールの送信者のみに返信したい場合には、投稿されたメールに直接返信しないで、新規メールを作成し送信して下さい。

尚、jsnmt-hyougiin@umin.ac.jp 宛に届きましたメールは、全てウイルスチェックを実施しております。もちろん100%安全とは言い切れませんが、安全性はトップクラスですのでご安心下さい。

以上、注意事項等を述べさせて頂きました。ご不明な点、メールアドレスの追加登録に関しましては、当委員会 ML までご連絡をお願い申し上げます。

- 電子情報管理委員会 ML jsnmt-denshi@umin.ac.jp

以下に、メーリングリストについてご説明させて頂きます。また、より理解して頂くために、同報メールという機能を例にとりあげ、比較いたしました。少々長くなりますが、ご一読下さい。

メーリングリスト (Mailing List) とは

一言でいいますと、複数の人と電子メールでやり取りをする仕組みのことです。

電子メールを使ったインターネット活用法のひとつで複数の人に同じメールを配送できる仕組みのことで略して、ML（えむえる）と呼ばれています。

通常、電子メールを送るときは電話をかけるときと同様に相手に直接メールを送ります。文通などでは1対1でお互いメールの交換をし合うこととなります。

メーリングリストでは、ある特定のあて先にメールを送ると、そのメールはあらかじめ登録されている人全員に配送されます。もし、送られてきたメールに返信をすればそのメールも登録されている人全員に送られるので、文通と異なり1対1ではなく複数同士でのメールのやり取りが実現でき、情報の共有化がしやすくなります。これがメーリングリストの最大の特徴です。

同報メールとの違い

メーリングリストでは各自があて先リストを管理しなくてよいのです。

不特定多数の人を対象にメールを配布するのが容易です。

電子メールの送信機能には一度に同じメールを複数の人に送ることのできる同報配送というものがあります。たとえば、「〇〇課」の人全員にメールを送りたいときはあらかじめそのメンバーのあて先を記述した同報リストを用意しておきます。メールソフトにその同報リストを登録しておけば、簡単な記述で同じメールを一度に送信できます。この同報機能は確実に登録者全員にメールを送れるだけでなく、全員のメールアドレスを覚えておく必要がないので大変便利です。

メーリングリストの特徴として複数の人とのメールのやり取りが容易であると述べましたが、ではこの同報機能を使えば同じようなことができるのではないかと想像できます。たしかに、やろうと思えばできますが、メーリングリストはもっと柔軟な対応ができます。

同報メールでは、同報リストを各自が用意しておかなくてはなりません。しかも、複数同士でメールのやり取りをするためには常に同じリストにしておく必要があります。もし、追加・変更があったときは各自が同報リストの内容を変更しなければなりません。少人数の場合なら十分対応ができますが、何十人もの規模になれば入れ替わりが頻繁となる場合も多く、その都度同報リストの書き換えをしていますが大変な労力となります。また、ある人にはメールが送られていなかったといったトラブルが起きやすくなり、重要な回覧メールの場合は後で連絡の不一致などを生じる原因にもなります。

メーリングリストでは、このような同報リストを各自が用意する必要がありません。特定のメールアドレスを覚えておくだけですみます。メーリングリストを運営するコンピュータ（メーリングリストサーバー）に登録者のアドレスを記憶させておくため、いつ誰が新たにメンバーに加わったり登録から外れたりしても、参加者はそれにより特別な作業をする必要がまったくありません。いつでも対象者全員にメールを送ることができるのです。

繰り返しになってしまい恐縮ですが、評議員の先生方におかれましては、

1. メールソフトを起動していただき、
2. 新規アドレス登録で、
3. 名前を、評議員 ML
4. メールアドレスを、

jsnmt-hyougiin@umin.ac.jp

にさせていただきだけで準備は完了です。

あとは、

jsnmt-hyougiin@umin.ac.jp

宛に、メールを送信していただきますと、メーリングリストに登録されております評議員の先生方全員にメールが配信されます。

評議員 ML より届きましたメールは、

差出人：メールを送信した方のお名前

宛 先：JSNMThyougiin-ML<jsnmt-hyougiin@umin.ac.jp>

件 名：[JSNMT-hyougiin:000001] ???????? (???はメールの件名)

というような内容になります。ちなみに、[JSNMT-hyougiin:000001] の数字部分は、通し番号になっており、送信された順番にカウントアップしていきます。

以上です。